

第6回例会報告【第2383回】

例会日：2025年8月25日（木）

会場：戸田文化会館 SAA:関口英子会員

- ・君が代 奉仕の理想 インターアクトの歌
ロータリーの目的 4つのテスト唱和 寺岡会員
- ・本日のお客様 南陵高等学校
外国語科 学科長 鳥養千鶴様 顧問 岩田智子様
南陵高等学校 生徒さん
地区インターアクト委員会 鳥井義兼委員長
㈱スマイルアップ 櫻井聡様
ツルヤ交通㈱ 橋本強様
- ・本日のプログラム
南陵高等学校インターアクトクラブとの合同例会

会長挨拶

2025～2026年度会長 溝上西二

こんにちは。挨拶の最初に出る言葉は「暑いですね」が定番となりましたが、お気を付けて過ごして頂きたいと思っております。今日の例会は、埼玉県立南陵高等学校インターアクトクラブとの合同例会であります。教諭の鳥養先生・岩田先生をはじめ6名の生徒の皆様、御出席誠にありがとうございます。国際ロータリーにてインターアクトの発足は、1962年（昭和32年）です。我共戸田西ロータリークラブでの南陵高等学校とのインターアクトクラブ設立は、1981年（昭和56年）6月20日と聞いておりますので、44年間の歴史があり、南陵高等学校も創立50年弱を迎える時期かと思っておりますので創立間もないころです。インターアクトは、12歳～18歳までの青少年が地域・地元や学校 又 国際交流の場で同じ世代の若者と知り合い、研鑽しながらリーダーシップを養うことを目的とし、我々ロータリークラブが青少年の健全育成に積極的に貢献していくためであります。又、出席頂きました新会員予定者の櫻井様と体験・見学に来て頂いた橋本様大変お忙しい中を誠にありがとうございます。先週22日(金)は、国際奉仕部門とローターアクト特別推進部門セミナーに



参加いたしました。明日は会長・幹事会、30日(土)は社会奉仕部門セミナーが予定されています。余談になりますが、私の会社で南陵高等学校サッカー部を応援している関係で、先日、宗右衛門公園サッカー場で近隣高等学校との第1回目となる親善対校試合を開催しました。又、昨年は戸田西ロータリークラブからの支援ということで、サッカー部へサッカーボールを寄贈させて頂きました。

幹事報告

2025～2026年度幹事 駒崎繁夫

1. 本日8月28日の例会プログラムは「南陵高等学校インターアクトクラブとの合同例会」を行います。インターへの助成金授与も行います。
2. 溝上会長から推薦がありました新会員候補者の櫻井 聡（さくらい さとし）様から入会申込書の提出がありました。会則に則り入会に向けた手続きを進めさせていただきます。
3. 戸田RCからオープン例会のご案内が来ています。
日時 2005年9月8日（月）12：00点鐘
会場 戸田市文化会館4階 羽衣の間
卓話 原田義之 様
「タイ北部に居住する少数民族アカ族への支援活動について」◎申し込みは戸田西 RC から一括で申し込みをします。参加希望者は8/31までに幹事（駒崎）まで連絡をお願いします。
4. 次週9/4の例会プログラムは、「ボーイスカウト・ガールスカウトへの助成金授与」を行います。両団体の代表者にお越しいただき、活動報告および活動計画をお話させていただきます。
5. また、次週の例会前11：30から理事役員会を開催いたします。理事役員の皆様には出席いただきますようお願いいたします。



・南陵高等学校インターアクトクラブ年間活動報告

韓国との交流活動

韓国教育院の協力のもと、韓国の伝統的な紙工芸であるキーパレッションや韓国の伝統衣装の着付け体験を実施した。韓国のインド科学高校と学期に1回程度の頻度でZoom交流会を開催し、小さいグループに分かれて韓国語で交流している。日本で研修中の韓国の教員との交流では、韓国に持ち帰って使用する教材作成の支援も行っている。また、韓国の税務士の先生方である日本語講師の高校訪問受け入れも行った。

インターアクト関連の活動

大宮で開催された年次大会に参加し、1年生が発表を行った。5人間交流プログラムでは、2名を派遣し、1名を受け入れた。看護学生の学校体験受け入れ韓国の看護学生を対象に1日の学校体験を実施し、韓国語でのコミュニケーションを補助するため韓国教育院の協力を得て懇談を行った。

研究発表「制服は必要か」

年次大会で発表した内容を、担当した1年生が紹介した。

各職業の制服に関する調査

警察官、看護師、自衛隊などの制服の歴史や役割、デザインの変遷について調査結果を共有した。

警察官の制服は1874年に警視庁で導入され、女性警察官のスカートの廃止など時代に合わせて変化していること、自衛隊の制服は若者の好感度を上げるために色の変更され、機能性、識別性、接続性の役割があることなどが挙げられた。

学校制服の変遷と現状

昭和から平成にかけての学生服（もんぺ、国民服、セーラー服、学ラン、ブレザー）の移り変わりを説明した。

南陵高校では、女子生徒のスラックス着用が許可され、また今年の夏からは制服ではない市販のポロシャツ（ユニクロなど）の着用も許可されるなど、近年変化が見られる。当初は制服としてのポロシャツ導入も検討されたが、在庫問題から市販品が採用された。

南陵高校インターアクトクラブの結論として、制服は学校の一体感や学習意欲を高める効果が期待できるため、必要であるとされた。

地区インターアクト委員長の挨拶と方針

国際ロータリー第2770地区の鳥居委員長が、各クラブの活動状況を把握するために訪問した。

地区内には33のインターアクトクラブがあるが、うち13クラブが休眠状態にある。南陵高校のような活発な活動事例を情報集約し、休眠クラブの再活性化や地区全体の活動促進に繋がる題材を作成したいとの意向を示した。委員長自身も昨年韓国への引率を経験しており、生徒たちに韓国との積極的な交流を促した。

連絡・質疑事項

文化祭の案内

9月の第1週の土曜日（6日）に文化祭を一般公開する。インターアクトクラブのブースでは、韓国語のミニレッスンや1年生が作成した韓国のオフィスツアーの発表などを実施予定。入場には、学校ホームページからの事前登録が必要であり、登録画面の提示が必要となる。文化祭では、オーストラリア研修のビデオ上映も行われる。

部員の状況

男子部員が少ないことが課題として挙げられた。学校全体で男子生徒が少ない傾向にあり、運動部との部員獲得競争があること、また韓国語の習得に難しさを感じる男子生徒がいることなどが背景にある。



南陵高等学校インターアクト部へ助成金を贈呈いたしました。



ニコニコ BOX

秋保会員

合計 22,000 円

累計 91,000 円